

メンター通信(VOL. 1)

平成21年9月15日
【愛知県自閉症協会】

平成20年度の研修を経て、色々な活動が進んでまいりました。メンターのみなさまには各数のご理解ご協力をいただきありがとうございます。ここで3ヶ月の報告をさせていただきます。

①メンター活動報告(4～6月)

6月14日	保育士連続研修における保護者からの講義・疑似体験	2名
6月15日	サポートブック研修	1名
6月22日	サポートブック研修	2名
6月22日、23日	行政窓口研修 障害特性講義 グループワークファシリテーター	2名 7名

②メンター活動報告書の集計(4～6月)

11名の方から合計82件の報告をいただきました。

つぼみの会で受けた相談、つぼみ主催の茶話会などの他にメンターが個々に受けた相談も該当します。以下に結果をご報告いたします。各項目、集計から見られる傾向を加藤が勝手に分析しました。

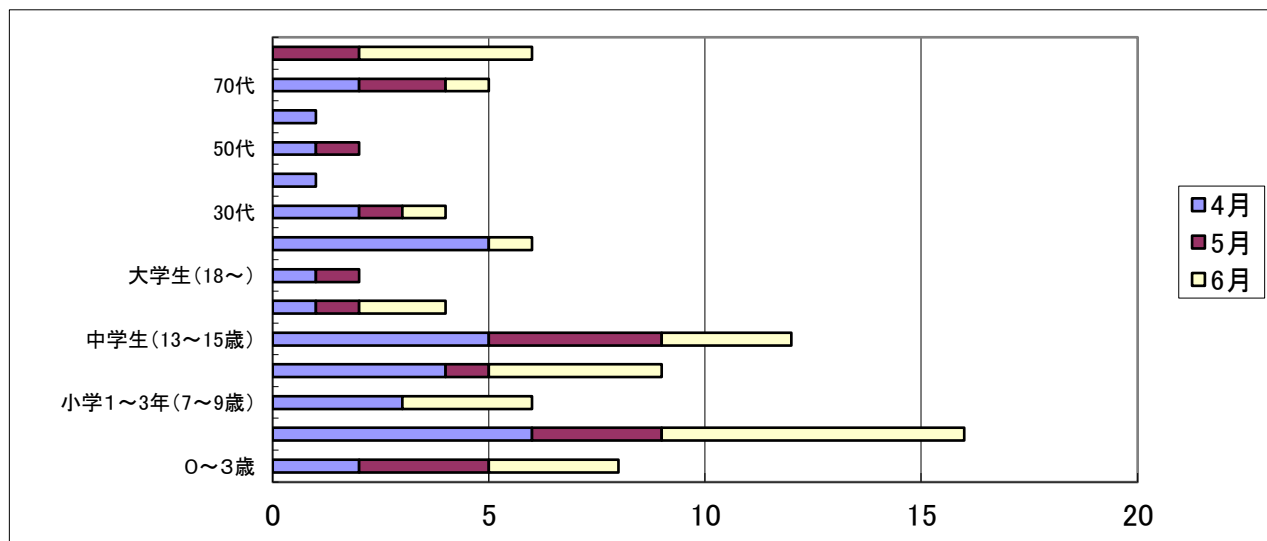
報告数は一つの行事に複数のメンターからのものもありますので、相談件数が詳細数とかならずしも一致しません。ご了承ください。

(1) 相談件数と性別・知的・手帳の推移

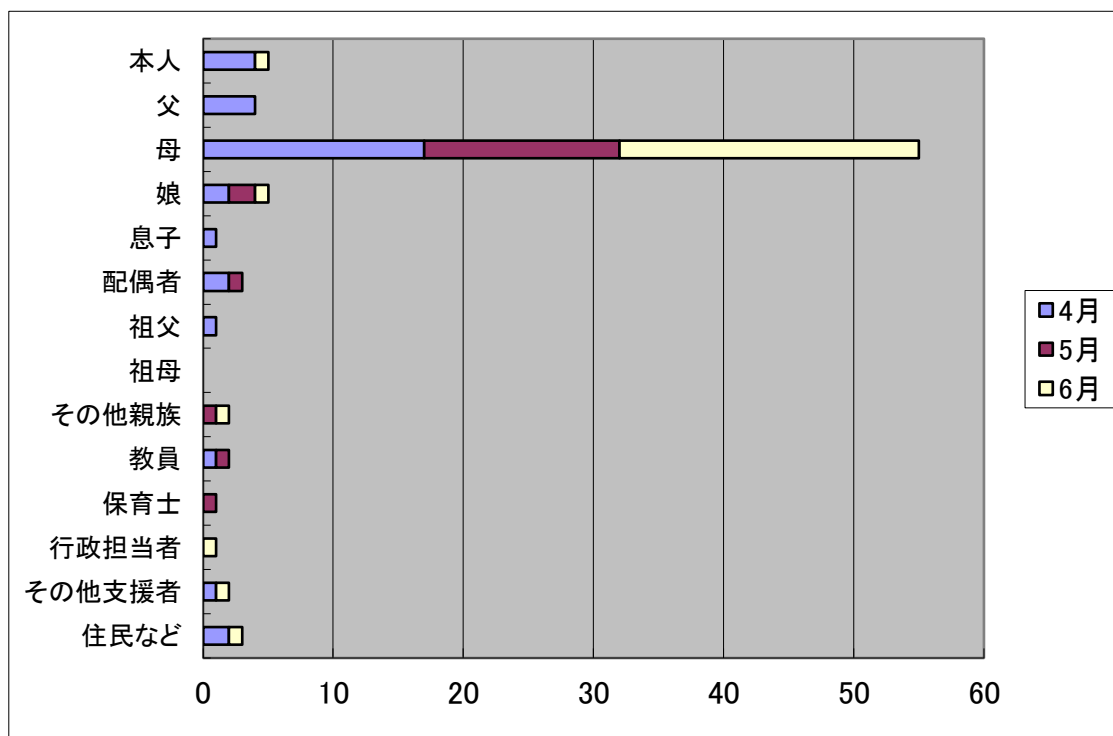
* 未記入もあるため合計は一致しません

	相談件数	相談対象者		知的障害		療育手帳	
		男	女	あり	なし	あり	なし
4月	34	17	15	6	25	6	27
5月	19	9	7	5	11	4	13
6月	29	15	10	4	19	3	18

(2) 相談対象者年齢



(4) 相談者と相談対象者との関係



⑤ 今後のお知らせ

1. 7～9月分の報告書提出期限は10月10日です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
1ヶ月ずつご提出いただいても結構です。
2. 提出対象はつぼみの会での活動の他、個人で相談を受けたものも対象です。
なお、〇〇教室など指導に値するケース、研修の講師として参加した際の質疑、業務として受けたケースは除きます。
3. 22年2月27日開催の応用研修について、12月ごろに詳細案内、事前アンケートをお送りいたします。
メール配信をご希望の方は事務局加藤まであらかじめご連絡いただきますようお願いいたします。

第一回結果をふまえて(吉川 徹先生より)

日頃からのメンター活動お疲れさまです。この集計からも皆さんが大変苦勞しながらも、あちこちで活躍されている様子がうかがえます。

集計を拝見させていただいて、まず感じたのが相談時間の長さです。個別の面談で1時間を超えるもの、電話相談では30分を超えるものはかなり長時間と言えるでしょう。それぞれになかなか切れない状況というのがあるのだとは思いますが、そのような無理な相談が続くと、メンター活動を長く、健康に続けていくことが難しくなりますし、また必ずしも相談者にも利益にならないこともあります。お互いに行き詰まって、どうにも答えが出せないと思った問題も、時間を区切って、日を改めて話をしてみると案外、新しい展開が見えてくることもあります。やはり初心に返って、メンター講習の際に練習していただいたような、相談時間の設定を思い出してみてください。

また相談者があまりに不安定な場合には、相談に乗り続けることがお互いにとって、よくない結果に結びつくことが少なくありません。人と安定した関係を結ぶのが難しい方への対応は、やはりプロの仕事になります。もっとも好ましくないのは、途中まで力の限り関わり続けて、突然息切れしてしまうパターンです。難しそうだと感じたら、早めに専門家にバトンタッチするようにしていただくのがよいと思います。

もう一点、知的障害のない方からの相談をうけることの難しさが目立っているようです。園や学校、職場などでの対応も、地域や施設によってずいぶん差があるのが現状であり、難しいところです。無理にその場で答えを出そうとせず、専門機関への相談を勧めていくこと、粘り強く交渉する気持ちを支えていくことなどを心がけていかれるのがよいのではないのでしょうか。

<編集後記>

子どもたちの夏休みに入ってしまい、通信が予定より遅くなってしまい申し訳ありませんでした。

みなさまからいただきました報告書は打ち込み作業をし、それぞれ項目にそって分類していきましました。わかってはいたものの、こんなにたくさんのケースがあるのかと再確認いたしました。事例の中には愛知県自閉症協会から各機関に報告して対応するケースもございました。

また、吉川先生その他、井上先生、原口先生、本部相談事業担当の武藤直子先生にも報告をさせていただき、先生方からは「とても大変なケースをみなさん受けていて感心します」とお声かけもいただいております。

また、集計業務を進めていくうちに、何とも表現しがたい感情に襲われることがありました。みなさまの筆跡からそのときの感情が手に取るようにわかる時もあり、その解消ができているだろうか…と思うときもありました。困難すぎる例については「もうこれ以上、私には無理ですと話してもいい」と武藤先生からコメントをいただいています。お困りの際は事務局までお申し出ください。

まだこれから報告書集計が続く、メンターのみなさまにはご負担をかけますが、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

発行者:愛知県自閉症協会(つぼみの会)

〒460-0013 名古屋市中区上前津2-14-25 上前津中央マンション202

TEL/FAX 052-323-0298

E-mail tubomi-aa@nifty.com

編集担当者:支援部 加藤 香